

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	本人が使えないナースコールも手元に置くことでご家族がさらに安心できると思われる。	ナースコールの必要性について再度ユニットごとで検討し、ナースコールを設置するようにしたが、破損の恐れがある方については、設置についてご家族に相談する。	今回話し合いをした結果、3名の方が破損する心配があり、ご家族とも相談した結果設置していない。今後は、毎月のモニタリング会議時、ナースコールについての見直しをしていく。	1ヶ月
2	33	施設入所時、施設での看取りを希望される利用者さんが殆どの状況。入所時と終末期では、ご家族の気持ちが変わる場合がある。日頃からご家族との関係作りをする中、終末期には本人、家族の気持ちを更に聞き取り、施設全体で最期まで看る体制作りの強化	終末期には、本人、ご家族の思いは日々変わる中、思いを受け止め、医療と連携しながら、チームで最期まで本人、ご家族の意向に沿ったケアをしていく。	『看取り』と診断された際、主治医、ご家族と担当者会議を今まで同様を行い、本人、ご家族の意向を確認し、また病状が変化する中、再度意向の確認をし、ケアプランの作成をしていく。また、プランに沿って、施設全体とご家族で最期まで寄り添っていく。	6ヶ月
3	36	1人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉がけや対応をしていく	定期的な研修を行い、常に自分自身の言動を振り返ることができるようにする	法人研修、事業所内研修と年3回は計画を立て、実施する	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。